

J-STAGE サービス方針説明会 FAQ

(これまでに開催した説明会等で JST によくいただくご質問へのご回答となる内容をまとめております)

【ISSN について】

- ・ ISSN の取得は必須ですか。
⇒必須です (J-STAGE 登載にあたっては、ONLINE ISSN を取得いただきます)
- ・ ONLINE ISSN の取得が必須とのことですが、PRINT ISSN を取得していれば取得は不要となりますか。
⇒取得は必要です。同じコンテンツでも媒体が違えば別の ISSN が必要となります。したがって、PRINT ISSN をお持ちでも J-STAGE に登載していただくにあたり、改めて ONLINE ISSN の取得が必要となります。
- ・ そもそも予稿集、会議録は ISSN を取得できるのでしょうか。
⇒逐次刊行物の定義に合えば取得可能です。詳細は国立国会図書館様のサイトよりご確認ください。 <http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/issn/index.html>

【著作権について】

- ・ コンテンツの著作権の扱いはどうなりますか。
⇒コンテンツの著作権は発行機関様(あるいは著者、取り決めによる)に帰属します。JST に著作権が譲渡されることはありません。
- ・ 予稿集の著作権が著者にあり、まだ許諾をとっていないのですが登載可能ですか。
⇒著者許諾をとった上で登載してください。
- ・ 複数機関が会議を共同開催したとき、予稿集登載はどう運用すればよいですか。
⇒関連するすべての機関から許諾がとれていれば登載可能です。運用(コンテンツの登載作業・お問い合わせ対応等)の体制を整えた上でお申し込みください。
- ・ 出版社と共同出版している(両方に著作権がある)雑誌を登載することは可能ですか。
⇒出版社側から許諾がとれていれば、登載可能です。
- ・ (権利上の理由等で)一部記事を登載しないといった運用は可能ですか。
⇒可能です。

【アップロードについて】

- ・ Web 登載機能で一記事ずつアップロードするのは非常に大変です。

⇒XML ファイル形式による複数記事の一括アップロードが可能です。(従来方式)

- PDF のセキュリティ設定(コピー不可、印刷不可等)をしてもよいですか。
⇒問題ありません。
- アップロードする論文のサイズに制限はありますか。
⇒1 記事あたりの PDF、全文テキスト等のファイルサイズ上限は 100MB です。
- BIB 形式ファイルでのアップロードは可能ですか。
⇒BIB 形式ファイルのサポートは平成 26 年 3 月末日をもって終了しました。書誌 XML 形式や全文 XML 形式でアップロードしてください。
- 映像等のアップロードは可能ですか。
⇒PDF と同時に公開できる電子付録で可能です。画像、動画、音声、文書、圧縮ファイル等が対象で、1 ファイルあたり 50MB まで、1 記事あたり 100 件までアップロードできます。
- 学会の雑誌は、論文と会員向け記事(査読記事でない)が混同しています。会員向け記事も掲載可能ですか。
⇒発行機関様で決めていただいて結構です。ただし、利用規約で禁止する記事の掲載はできません。
- 現在、PDF ファイルを学会の HP に掲載していますが、J-STAGE には書誌事項のみを掲載し、本文 PDF は学会の HP に掲載することは可能ですか。
⇒J-STAGE は全文情報をもつプラットフォームという位置づけのため、J-STAGE ご利用の際は全文情報(PDF)を掲載していただきます。
- 演題が 300 記事ほどありますが、1つの PDF ファイルでアップロードしてもよいですか。
⇒お手数ですが、J-STAGE では 1 記事ずつ書誌事項と PDF ファイルを用意してアップロードする必要があります。
- 予稿集で 1 枚の PDF に複数の記事が含まれているが、PDF を分割する必要がありますか。
⇒PDF を分割する必要はありませんが、開始ページの下に連番を付して、記事が区別できるようにする必要があります。

- ・過去の記事は画像 PDF しかありません。Web 登載機能で作業するにあたり画像 PDF ファイルをアップロードすることは可能ですか。

⇒システム上は透明テキストがない画像 PDF でもアップロードは可能ですが、全文検索はできず、入力いただいた書誌情報のみが検索対象となるので、閲覧の機会が減少してしまう可能性があります。過去分の画像 PDF を透明テキスト付に作り直すのは負荷も大きいいため致し方ない面もありますが、今後についてはできるだけ透明テキスト付 PDF の作成をお願いいたします。

【認証について】

- ・認証設定はどのようなものがありますか。

⇒ID/パスワードによる認証、IP アドレスによる認証、PPV(論文一部売り)の設定ができます。

- ・どのような単位で認証をかけられますか(巻?号?記事単位?)

⇒巻・号単位、記事単位いずれも可能です。

- ・無料公開は必須ですか。

⇒J-STAGE はオープンアクセスのコンテンツ公開を原則としております。制限をかける場合は、1年程度の認証(エンバーゴ)を推奨しています。

【コンテンツの内容について】

- ・抄録は必須ですか。

⇒抄録が存在する場合は、必ず入力してください。抄録がない場合は、書誌情報画面にコンテンツの1ページ目画像が表示されます。これは Google Scholar からの検索にヒットするための仕様です。詳細は資料『Google 等との連携強化およびオープンアクセス対応方針について』をご参照ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/pdf/AY04S260.files/renkei0612.pdf>

- ・1ページに複数記事が掲載されているのですが、J-STAGE への登載は可能ですか。

⇒可能です。1ページに複数記事ある場合『開始ページ』の下に『連番』パラメータを振って記事を区別してください。

- ・現在 J-STAGE でジャーナルを公開していますが、大会予稿集等は外し、論文のみを公開しています。今後は、ISSN が同じ逐次刊行物の増刊号という扱いで、大会予稿集等も登載

できますか。

⇒可能です。

【オプションサービスについて】

- ・投稿審査システムを利用できますか。

⇒毎年9月ごろに公募しますので、ご応募いただくことは可能です。投稿審査システムは、審査の上、その機能が有効に活用されるコンテンツを発行する機関様に優先的に提供しています。そのためご応募いただいても必ずご利用いただける訳ではありません。ご了承ください。また、利用機関様の利用状況を確認させていただき、継続利用の審査も行います。

- ・投稿審査システムを利用した場合、どちらの登載機能で登載しないといけないという制約はありますか。

⇒投稿審査システムは査読工程を支援するオプションです。採択された論文の登載方式の選択について制約はありません。

- ・Web 登載機能では早期公開機能は使えないのでしょうか。

⇒早期公開機能は、操作等複雑なのでXML 登載機能のみとしています。

【DOI、外部サイト連携、引用リンク】

- ・CrossRef DOI と JaLC DOI の違いは何でしょうか。CrossRef DOI の選択は可能でしょうか。

⇒登録機関が異なりますが、DOI の性質に違いはありません(CrossRef DOI は CrossRef が登録、JaLC DOI はジャパンリンクセンター(JaLC)が登録)。今後 J-STAGE に参加する発行機関様のコンテンツには、原則 JaLC DOI を登録します。

- ・J-STAGE に登載することで、外部サービスにも登録がされるのでしょうか。

⇒J-STAGE からは、メタデータを外部連携先に送りますが、外部連携先に登録されるか否かは外部連携先の判断(基準)によります。

- ・Web 登載機能を利用した場合、XML 登載機能を利用した場合と同様に引用文献リンクはつくのでしょうか。

⇒リンク先が特定されれば、どちらの機能を利用した場合でもリンクはつきます。引用文献リンクに限らず、登載機能による公開情報の差はありません。

【サポートについて】

- ・人的サポートはあるのでしょうか

⇒J-STAGE 初回公開までの技術的支援（システム設定など）を行います。また、ご利用開始後はメールによるお問い合わせをお受けしますが、お問い合わせの手間がないように FAQ やマニュアルを充実させていく予定です。

- ・利用開始当社は Web 登載機能で始めて、後で XML 登載機能も利用したいという希望がでてくるかもしれません。スムーズに XML 登載機能が活用できるようなサポートはありますか。

⇒利用機関様向けの合同説明会を定期的を開催する予定です。その中で XML 登載機能のデモンストレーションを行う予定ですので、ご活用いただければと思います。

- ・担当が変わった際、改めて登載機能のデモを行っていただくことは可能ですか。

⇒基本的には機関様内部でしっかりと引継ぎを行っていただきますが、利用機関様向けの合同説明会を定期的を開催する予定です。その中で登載機能のデモンストレーションを行う予定ですので、ご参加いただくことは可能です。

【申し込み・審査について】

- ・申し込みは機関単位ですか。それとも雑誌（ISSN）単位ですか。

⇒ISSN 単位です。したがって、J-STAGE に掲載されている雑誌があっても、新たな（ISSN が異なる）コンテンツを公開したい場合には改めて申込が必要となります。

- ・カレントは J-STAGE で公開していますが、バックナンバーを ELS で公開しています。この場合、J-STAGE へ新規に申し込む必要はありますか。

⇒J-STAGE への新規申し込みは不要ですが、ELS データの移行を希望する場合は ELS データ移行申請書のご提出が必要となります。

- ・当初は Web 登載機能を使い、後で XML 登載機能を使う場合は、申し込み・審査を受ける必要がありますか。

⇒その必要はありません。

- ・早く申し込みをすれば、J-STAGE の利用開始時期も早まりますか。

⇒審査までは、早く結論が出ますが、お申し込み状況によっては J-STAGE カレント初回公開は、英文誌、査読付き論文掲載誌、ELS 登載誌で平成 28 年 4 月に刊行予定のものを優先に対応を進めたいと考えています。

【移行について】

- ・NII-ELS 以外の過去記事を移行してもらうことは可能ですか。

⇒NII-ELS 以外のコンテンツは NII と JST による移行支援の対象外です。発行機関様ご自身で過去記事のアップロードをお願いいたします。

- ・ NII と JST に移行申請を行えば、データ移行はすべてやってもえるのでしょうか？

⇒データ移行の主体は発行機関様になります。NII は ELS データの出力を、JST は ELS データの J-STAGE への取り込み (プログラム処理) を行います。データの確認・修正・公開処理を発行機関様に実施頂きます。

- ・すでに刊行が終了している過去の資料は移行できますか？

⇒J-STAGE は現在も発行が続いているカレント誌を収録の対象としているため、移行の対象外となります。ただし J-STAGE の登載を行う資料の前身誌については移行の対象となります。

【その他】

- ・ サービス利用料金はかかりますか。

⇒原則無料です。(一部オプション機能のみ発生します)